



2023年6月13日

各位

会社名 リンカーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 前田 佳宏
(コード番号: 5131 東証グロース)
問合せ先 取締役経営管理本部長 江頭 宏一
(TEL: 03-6822-9585)

2023年7月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年6月13日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等をふまえ、昨年2022年10月26日に開示いたしました2023年7月期(2022年8月1日~2023年7月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年7月期の業績予想数値の修正(2022年8月1日~2023年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,192	169	158	150	11.55
今回修正予想(B)	1,622	111	105	121	9.16
増減額(B-A)	△570	△58	△52	△28	
増減率(%)	△26.0	△34.2	△33.3	△19.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年7月期)	1,412	65	63	49	3.99

2. 修正の理由

当社は2023年7月期の期初において、新型コロナウイルス感染症の影響低減による経済活動の回帰等を鑑み、策定時点で把握出来ていた営業活動等を当該業績予想に織り込みました。

直前期である2022年7月期をベースに一定量ストレッチした成長率を織り込んで、売上高、各段階利益(営業利益、経常利益及び当期純利益)の計画を策定いたしました。2023年7月期第3四半期末時点において、各種サービスは概ね前期を上回る実績にて進捗しているものの、調達支援サービス「Linkers Trading」の大口需要の減退や、金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」の検収が来期になることを把握し、期初に策定した業績予想数値を達成するのが困難であることが予測できるようになったことから、業績の下方修正を行います。

以下に、今回の業績未達の要因となった主な事象について、その要因を記載いたします。

(売上)

2023年7月期の通期業績におきましては、主に「Linkers Trading」の需要減退及び「Linkers for BANK」の新規導入機関数が期初における見込みを下回るなど、売上高が想定を下回ることが見込まれるため、下方修正いたします。

調達支援サービス「Linkers Trading」においては、主に海外サプライヤーからの調達支援を主たる事業としており、2022年7月期に案件化した大口需要家からのアルミニウム再生インゴットの調達計画をベースに販売計画を立案いたしました。しかしながら、2022年半ばからの記録的な円安相場の進行により為替リスクが顕在化したことを背景に、大口需要家の調達（輸入）計画が見直しとなったことや、為替リスクを受けた国内調達への切り替えが進行したことにより、売上が大幅に未達となる見通しとなっております。

技術探索サービス「Linkers Sourcing」及び用途開拓サービス「Linkers Marketing」においては、期初より、海外探索サービスの立上げに営業リソースを重点的に配置したことなどにより、受注獲得における先行指標である営業活動量が低下し受注件数が減少したことから、売上が未達となる見通しとなっております。

金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」、及び事業会社向けマッチングシステム

「Linkers for Business」においては、2023年7月期にて合計16機関の導入を見込んで販売計画を策定いたしました。営業活動については順調に進んだものの、導入予定機関内での意思決定や導入作業に時間を要しており、複数機関の導入が来期の検収となることが確定したことから、2023年7月期においては12機関の導入に留まる見込みとなり、売上が未達となる見通しとなっております。

グローバル技術リサーチサービス「Linkers Research」においては、案件受注数及び売上高において過去最高を更新する見込みであります。リサーチ案件を担当するプロジェクトマネージャーの採用が難航したことから受注を制限するケースが発生するなど、当初計画していた案件数の受注が困難となったことにより、売上が未達となる見通しとなっております。

なお、各種サービスの売上見通しは以下とおりであります。

(単位：百万円)

	前回発表予想	今回修正予想	増減率	前期実績	増減率
探索・マッチングサービス	1,479	995	△32.7%	888	12.1%
Linkers Sourcing	228	189	△17.3%	214	△11.7%
Linkers Marketing	167	131	△21.5%	110	19.3%
Linkers for BANK	401	343	△14.5%	250	37.0%
Linkers for Business	119	96	△18.9%	159	△39.5%
Linkers Trading	562	234	△58.3%	153	53.2%
リサーチサービス	599	533	△11.0%	462	15.3%
その他サービス	114	94	△17.7%	62	51.4%
売上高合計	2,192	1,622	△26.0%	1,412	14.9%

(売上原価、売上総利益)

「Linkers Trading」の需要減退に伴い、アルミニウム再生インゴットの調達に係る仕入高が、前回発表予想比で約57%減と大きく減少したことに加えて、「Linkers Research」において外部リサーチャー等への外注費用の圧縮に努めたことで、業務委託料が同約57%減となるなど主要原価の抑制に取り組んだ結果、売上原価全体では同約46%減を見込むものの、売上の未達をリカバリーするまでには至らず売上総利益は同約10%減を見込んでおります。

(販売費および一般管理費及び営業利益)

販売費及び一般管理費においては、主に「Linkers for BANK」の導入支援、及びIPO支援費用の予算外

執行等の発生等により業務委託料等の一部経費が予算を上回る見込みとなるものの、人材採用の遅れによる人件費及び採用関係費用、並びにその他の主要経費の執行抑制に努めた結果、前回発表予想比で約6%減となるなど経費削減に努めましたが、営業利益は同約34%減の111百万円を見込んでおります。

(経常利益及び当期純利益)

上場申請時に要した各種費用等を織り込み、経常利益は前回発表予想比で約33%減の105百万円を、当期に属する法人税等及び税効果会計等を見積り、当期純利益は同約19%減をそれぞれ見込んでおります。

これらの事業環境と当社の収益状況等を勘案し、2023年7月期通期業績予想を上記のとおり下方修正いたします。

3. 今後の方針

当社が提供する探索・マッチングサービスを中心としたビジネスマッチング事業は、企業のオープンイノベーション領域への投資意欲は引き続き高いと想定しており、当社サービスにおいても持続的に成長するものと判断しております。今後、各種サービスにおける上記の未達要因に対する具体的なアクションプランを検討し、着実に実行していくことによって更なる事業成長を達成していくことが可能と考えております。詳細については、本日開示しております「2023年7月期第3四半期決算説明資料」も併せてご参照ください。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上